

令和7年4月「月報」

<会長挨拶>

寒暖差の大きい日々となっておりますが、その分、今年の桜を愛でる期間は長いとも云われておりましたが、いかがでしょうか。

前月を振り返りますと、2月末から3月にかけて、大船渡市、今治市、岡山市などで大規模な山林火災が発生し、大きな被害が発生しました。被害を受けられた皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。そして空中からの消火活動等で鎮火にご尽力頂いた、自衛隊の災害派遣部隊の皆様に感謝申し上げます。

さて、戦後最も厳しく複雑と云われる安全保障環境。この状況に対応し、国民の命と平和な暮らしを守り抜くための防衛力の抜本的強化が進んでいます。

3月24日には、常設の統合戦司令部（司令官・南雲憲一郎空将）が新設されました。

平成23年3月の東日本大震災以降、その必要性が歴代の統合幕僚長から指摘されてきました。その他では、陸・海・空自衛隊の共同部隊として自衛隊海上輸送群の新編や大湊地方隊を横須賀地方隊に統合して、新たに横須賀地方隊大湊地区隊とする改編も行われました。なお、女性として最後（第51代）の大湊地方総監を務めた近藤奈津枝海将が、初代の大湊地区総監となっています。



また、3月31日、8兆4748億円の防衛関係費を含む令和7年度予算が成立。自衛官の処遇改善等の人的基盤強化も含めた防衛力の抜本的強化がより一層進むことになります。

令和7年度がスタートしました。微力ながら、東自家族会の充実・発展に尽力して参りたいと思っておりますので、会員の皆様のご支援ご協力を引き続き宜しくお願い致します。

<東自家族会の活動>

1 令和7年3月の活動

（1）東京地本主催「令和6年度入隊・入校予定者激励会」

東京地本主催の入隊・入校予定者激励会は、3月7日～16日の間、森山会長も参加した激励動画としてYouTube（ユチューブ）にて配信されました。

また、各自治体で行われます激励会に各地区会長等が参加しました。

なお、城南地区隊と城北地区隊は、地区隊としての激励会が行われ、各地区家族会の方々が参加しました。

参照「地区協議会だより 『城南地区協議会』」

(2) 第1普通科連隊の徒步行進訓練への激励

東日本大震災の発生した3月11日、第1普通科連隊は、首都直下地震を想定した都内行進訓練を実施しました。これに伴い、各地区家族会は、行進経路や行進目標地区において激励活動を行いました。



(写真はいずれも第1普通科連隊Xより)

(3) 新入隊の見送りへの参加

3月24日～30日の間、入隊予定者が、陸・海・空自衛隊の教育部隊への着隊に向けて、東京地本が手配した大型バスに乗車して、ホテルグランヒル市ヶ谷と東立川駐屯地からそれぞれ出発しました。出発に際し、多くの保護者の方やご友人の方が、見送りに来ておられました。ホテルグランヒル市ヶ谷においては、森山会長と会員の有志の方が、見送りに参加し、出発する新入隊者を激励すると共に、お越しいただいた保護者の方に家族会への入会案内等をお渡ししました。



2 令和7年4月以降の主な事業・行事

(1) 令和6年度収支決算の監査会

令和7年4月2日(水) 10時から新宿区戸塚地域センターで、各監事による令和6年度収支決算に関する監査会を実施しました。

(2) 新隊員入隊式への参加

・ 第1普通科連隊入隊式(練馬駐屯地) 4月5日(土)

森山会長の他、練馬駐屯地近郊の地区会長が参加します。

去年は、師団行事の事前公開日とあわせ実施され、地区家族会に広く案内がありました。今年は、駐屯地近郊の地区会長のみへの案内となっております。行事は体育館で行われます。

・ 陸上自衛隊女性自衛官教育隊(朝霞駐屯地) 4月6日(日)

森山会長が、自衛隊家族会の業務執行理事として参加し、自衛隊家族会の説明を行う予定です。

(3) 令和7年度第1回東自家族会理事会

令和7年4月19日(土) 13:30～16:30(東京地本会議室)

議題: 令和6年度の事業成果報告、令和7年度事業計画(案)など

(4) 令和7年度東自家族会定期総会等

定期総会

令和7年5月24日(土) 13:00～15:30 (東京地本会議室)

議題: 令和6年度の事業成果報告、令和7年度事業計画(案)など

防衛講演会(16:00～17:00) (ホテルグランドヒル市ヶ谷)

講師: 陸上自衛隊の将官を予定

議題: 調整中

懇親会(17:20～19:00) (ホテルグランドヒル市ヶ谷)

会費: 7,500円

3 その他

(1) 近郊の自衛隊のイベント情報(各部隊などのホームページより)

○ 練馬駐屯地創立63周年・第1師団創立74周年記念行事

日時: 4月13日(日)

一般開放: 8:30～16:00

場所: 練馬駐屯地(東京都練馬区)

連絡先: 第1師団司令部総務課広報班

電話: 03-3933-1161



○ 下志津駐屯地創設70周年記念行事

日時: 4月12日(土) 一般開放: 9:00～15:00

場所: 下志津駐屯地(千葉市 若葉区 若松町)

連絡先: 陸上自衛隊高射学校 総務課 広報室

電話: 043-422-0221 (内線: 471・498)

(2) 東京地本の関連ニュース

2月26日、若宮健嗣防衛大臣補佐官も出席して、東京地方協力本部大田出張所の開所式が行われました。大田出張所の移転は、関係閣僚会議で取りまとめられた基本方針を踏まえた募集態勢の充実にに向けた取組の1つです。(防衛省HPより記載)

新住所: 大田区蒲田5丁目37-1

ニッセイアロマスクエア1階(JR蒲田駅東口徒歩5分、京急行蒲田駅徒歩10分)



(3) なぜいま、処遇改善なのか(防衛省ホームページより)

自衛官の募集は困難な状況にある。自衛官の定員割れが続いている。戦後最も厳しい安全保障環境に対応した防衛力の抜本的強化のためには、その担い手である自衛官の確保が至上命題であり、このまま抜本的な策を講じなければ、さらに状況は悪化するばかりである。

国の防衛という厳しい任務を担うがゆえに、平素から、自衛官は厳しい環境に耐え続けることが当たり前であるという組織文化では、人材確保はおぼつかない。個々人のやりがいと働きやすさを大切にし、働きがいを向上させる組織にしていく必要がある。防衛省・自衛隊は、強い危機感をもって取り組んでいかなければならない。

それでも、自衛官は、身をもって我が国の平和と独立を守り、国の安全を保つという任務の特殊性から、様々な負担や制約から逃れることはできない。そのため、自衛官は、その特殊性に見合った処遇を得る必要がある。特殊性が適切に評価され、自衛官という職業を選択したことについて、誇りと名誉を感じることができる処遇を確立していくことが重要である。さらに、多くの自衛官が56歳で退職する中、再就職や再就職後の再就職・収入に不安を感じさせないようにすることが自衛官の確保にとっても重要な課題である。自衛官としての知識・技能・経験を活かした再就職先の拡充や、安んじて生活できる収入の確保などを通じ、自衛官の将来不安の払しょくに取り組む必要がある。



<地区協議会だより>

○ 城南地区協議会

城南地区協議会は、3月8日(土)に行われた城南地区隊主催の入隊・入校予定者激励会に協力しました。激励会は10時30分から飯田橋の東京しごとセンターで、城南地区隊より入隊・入校予定者43名とご家族13名が出席して盛大に行われました。

城南地区協議会からは各地区家族会の会長を始め6名の会員が参加しました。

激励会では、城南地区隊長の開会のご挨拶に続き、城南地区協議会長の激励の挨拶。また、米軍から東方総監部に派遣されている連絡幹部の中佐より、日米安全保障条約における自衛隊の重要性や新任自衛隊隊員への期待等の貴重なメッセージがありました。

その後、予定者の皆さんは入隊・入校のカテゴリー毎のグループに別れ、同期となる皆さんで懇親。一方、家族会のご出席のご家族に対し家族会の説明と入会の勧誘をした後、ご家族の方々の質問を受けながら懇談をしました。

そして、中央音楽隊と東京地本音楽クラブによる激励の演奏と歌唱で予定者を勇気づけ、大いに盛り上がりの中、お開きとなりました。

城南地区隊として入隊・入校予定者激励会の開催は昨年に続き2度目でしたが、昨年にも増して趣向を凝らした素晴らしい激励会となり、予定者およびご家族の皆さんにとって大変意義深い、良い機会であったと感じました。



○ 城北地区協議会

城北地区協議会は3月2日（日）市ヶ谷駐屯地にて行われた、城北地区隊主催の入隊・入校予定者激励交流会に協力しました。当日は入隊・入校予定者が62名、家族が38名の参加でした。家族会は7名でご家族との懇親会でいろいろな相談事に対応し、18名の入会情報（他地区も含む）を得ることができました。



○ 城東地区協議会 三多摩地区協議会

<東京地本からの連絡事項>

〒162-8850 東京都新宿区市谷本村町10番1号
自衛隊東京地方協力本部 東京都自衛隊家族会連絡所
TEL 03-5228-7833 （FAX 同時切替）

東京都自衛隊家族会賛助会員のご紹介（登録順）

参議院議員 佐藤 正久 様	昭島ガス株式会社 代表取締役 平畑 文興 様
衆議院議員 松原 仁 様	衆議院議員 長島 昭久 様
柴田法務会計事務所 柴田 純一 様	衆議院議員 松本 洋平 様
前衆議院議員 小田原 潔 様	前衆議院議員 山田 美樹 様